

「神戸親和女子大学大学院研究紀要 第13巻」

～創立50周年記念号発刊に寄せて～

大学院文学研究科長

山本裕之

今年、本学は創立50周年の記念の年を迎えました。1966年の開学から半世紀、本学の建学理念であります「社会で自立し活躍する女性の育成」を掲げ、実践してまいりました。このように記念の年を迎えることができましたのも、卒業生・修了生や保護者の皆様、そして地域の方々のご支援があつてのことと深く感謝申し上げます。2016年10月には記念事業としまして、50周年記念式典、記念講演会、祝賀会を挙行いたしました。

さらに、ここにまた、「神戸親和女子大学大学院研究紀要第13巻」を、創立50周年記念号として発刊できますことは、本学の喜びであるとともに誇りとするところでもあります。今回の記念号には、教育学と心理学関連の7篇の論文が寄せられました。本学には、各学部学科の研究紀要や国際教育研究センター紀要など多くの研究紀要がありますが、この大学院研究紀要は本学を代表する研究紀要の一つです。大学院担当教員や大学院生、修了生の研究活動が活発なことは誠に喜ばしい限りです。

本学は、学生への教育の充実を第一義に考えると宣言しています。大学院生一人ひとりのニーズに応え、その研究活動を支援する教育を充実させるためには教員による活発な研究が不可欠です。研究は教育の前提であり基盤でもあるからです。教員が研究者・教育者として、各々の研究課題に沈思黙考し直向きに探求することは、研究者に課せられた使命であり、また唯一無二の喜びでもあります。教員が探求し続ける姿勢は大学院生の研究意欲の向上にも繋がります。特に大学院では、教員と大学院生とは師弟の関係であるとともに、共同研究者でもあります。今後も、教員による活発な研究活動を期待するところです。

また、本学大学院文学研究科は、心理学と教育学に関する高度な専門的な知識と技能を有し、家庭や学校における諸課題を発見・分析・研究し、さらに、それらの諸課題の解決策を立案・実行できる「心、もしくは、教育のスペシャリスト」を養成することを目的とする大学院です。スペシャリストを養成する大学院である以上、本学大学院を修了し社会で活躍中の修了生にも、本学の研究活動の一端を担ってほしいと考えます。今後も、教員、大学院生、そして社会で活躍中の多くの修了生にも、本紀要への論文の投稿をお願いいたします。

研究活動は、大学院の知的財産であるとともに社会の財産でもあります。この「知」を活用し、社会に貢献する大学院でありたいと願います。この創立50周年を本学の新たな歴史の始まりととらえ、今後も、教育・研究・社会貢献のより一層の充実に努めてまいり所存でございます。教員、大学院生、修了生による研究が、今後さらに深化し発展することを祈念いたします。